



辺野古のサンゴ採捕 農水相の指示違法 沖縄県が国を提訴

沖縄県は7月22日、辺野古新基地建設の海域で見つかったサンゴの移植に関わり、農林水産大臣が沖縄防衛局の特別採捕許可申請を許可するよう県に是正指示したことを違法として国の関与取り消しを求めて福岡高裁那覇支部に提訴しました。県は総務省の第三者

機関である「国地方係争処理委員会」に3月、審査を申し出ていましたが、6月19日に是正指示は「違法ではない」と沖縄県の訴えを却下する不当な決定をおこなったため、不服として提訴を決めました。

玉城デニー知事は、この是正指示について、法令に基づく採捕許可事務の権限を知事が行使する前に国が許可を命じたもので、知事の判断権限を奪うことになりかねず、地方自治の観点からも大きな問題があると述べています。

現在、県は辺野古新基地建設に関する国と県の訴訟は9回目となります。

※サンゴの採捕許可問題での農水大臣の沖縄への是正指示に対して、安保破棄中央実行委員会が呼びかけた国地方係争処理委員会に沖縄県の訴えを認めるよう求める団体署名は、短期間に542通寄せられました。



小雨降る中での宣伝行動
7月22日、新宿西口

安保破棄中央実行委員会と東京実行委員会は7月22日、東京・新宿駅西口で沖縄の米軍からのコロナ感染防止や辺野古新基地中止、普天間基地の即時閉鎖・撤去、日米地位協定抜本改定などの宣伝・署名行動をおこないました。行動には、安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長をはじめ、全労連、自治労連、全商連、婦人民主クラブの各代表の4団体から8人が参加しました。

東森氏らは、沖縄の米軍基地でコロナ感染者が急増していることに對し、日本政府が感染経路などの詳細を迅速に公表するよう訴え、日米地位協定の改定を求める署名を呼びかけました。軟弱地盤などで完成に見通しが立たない辺野古新基地建設の中止や木更津への陸自オスプレイ配備反対なども訴えました。

宣伝に足を止め、署名に応じ、カンパを出してくれる人もいました。

安保宣伝
新宿駅
西口

沖繩の米軍基地で感染者拡大
詳細の公表で国民の命守れ

7/24 在日米軍、基地別感染者数を更新 前回より全体で49人増、横須賀は9人に 在日米軍、来日時PCR検査を義務化!

在日米軍司令部（東京都の横田基地）は、21日以降、同ホームページで、基地別の新型コロナウイルスの感染者数の公表を開始しましたが、24日現在の基地別感染者数を更新しました。それによると24日現在で11施設の計189人となり、前回の16日より1施設49人増えました。1施設は横田基地で4人としています。沖縄県のキャンプ・ハンセンが84人、普天間飛行場が78人で計162人となり、この2施設だけで全体の約86%を占めています。神奈川県では横須賀基地9人(+1)、厚木基地3人(+1)、キャンプ座間1人となっています。
(原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会 阻止連ニュース N03224 より)

お知らせ
常任幹事会 8月18日(火)16時から
全労連会館 3F 全労連会議室